

## 2020年度全日本学生ヨット個人選手権大会 2020年全日本学生シングルハンドレガッタ

開催地： 愛知県蒲郡市 豊田自動織機 海陽ヨットハーバー沖  
 大会期日： 2020年11月27日（金）～ 2020年11月29日（日）  
 共同主催： 全日本学生ヨット連盟 中部学生ヨット連盟  
 公認： （公財）日本セーリング連盟【2020-09】  
 後援： 蒲郡市、蒲郡市教育委員会、中部ヨット協会、愛知県ヨット連盟  
 日本470協会、日本スナイプ協会  
 協賛： 日建・レンタコムグループ 日建レンタコム株式会社 日建リース工業株式会社  
 日建片桐リース株式会社 明治商工株式会社 株式会社伊藤園 蒲郡市観光協会  
 協力： 豊田自動織機海陽ヨットハーバー 蒲郡三谷温泉平野屋

### レース公示

#### 1. 規則

1. 本大会は「セーリング競技規則 2017 - 2020」（以下規則）に定義された規則を適用する。但しこれらの規則等のうち、本レース公示または帆走指示書（以下公示・指示）によって変更されたものを除く。
2. 最新の「全日本学生ヨット連盟規約」「470級学連申し合わせ事項」「スナイプ級学連申し合わせ事項」および「艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項」を適用する。これらは全日本学生ヨット連盟にて入手することができる。
3. 付則Pの「セール番号」を「セール番号または識別番号」に置き換え適用する。これは規則P1を変更している。
4. 付則Tが適用される。「レース後ペナルティー」を履行した艇は、得点略語「ARB」を用いて記録される。これは、規則A11を変更している。
5. SCIRA規則の「国内及び国際選手権大会の運営規定」は、同規定9.1に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き適用されない。
6. [NP]は、この規則の違反は艇からの抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則60.1(a)を変更している。

#### 2. 競技種目

2020年度全日本学生ヨット個人選手権大会： 470クラス、スナイプクラス  
 2020年全日本学生シングルハンドレガッタ： レーザーラジアルクラス

#### 3. 参加資格

1. 470クラス、スナイプクラスの1チームは、ヘルムスマン1名、クルー2名以内とする。
2. レーザーラジアルクラスは1名とする。
3. 選手は全日本学生ヨット連盟規約6条を満たしており、各水域の推薦を得ている者。

470クラス、スナイプクラスの各水域推薦枠は、次のとおりとする。

北海道	東北	関東	中部	近畿 北陸	関西	中国	四国	九州	開催 水域	合計
3	3	18	4	6	6	4	3	6	1	54

4. 選手及び監督・コーチは、2020年度（公財）日本セーリング連盟会員であること。
5. 470クラスの選手は、日本470協会の2020年度団体会員登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
6. スナイプクラスの選手は、2020年度SCIRA登録済みであること。
7. レーザーラジアルクラスの選手は、レーザークラス協会に登録済みであること。
8. スポーツ安全保険（人身・物損補償）相当の保険に加入していること。

#### 4. 日 程

11月27日	(金)	受付	9:30 ~ 16:00
		開会式・大会説明(ZOOM配信のみ)	16:00 ~ 16:30
11月28日	(土)	ブリーフィング(LIVE配信あり)	8:45~ 9:00
		1日目の最初のレース	予告信号予定時刻
		470クラス	10:00
		スナイプクラス	10:07
		レーザーラジアルクラス	10:12

11月29日	(日)	ブリーフィング(LIVE配信あり)	8:45~ 9:00
		2日目の最初のレース	予告信号予定時刻
		470クラス	10:00
		スナイプクラス	10:07
		レーザーラジアルクラス	10:12

11月29日に表彰式及び閉会式を実施する(LIVE配信あり)

1. 本大会のレース数は、各クラス最大6レースを予定し各クラス1レースをもって大会成立とする。
2. 1日に実施するレース数は、次のとおり計画する。

日 程	470クラス	スナイプクラス	レーザーラジアルクラス
11月28日(土)	4	4	4
11月29日(日)	2	2	2

3. 各日程における各クラスの次のレースはそれぞれ可能となれば、引き続き実施する。
4. 11月28日は15:01以降、11月29日は13:31以降に予告信号は発せられない。
5. 開会式・大会説明のZOOMミーティングID: 389 909 5063 パスワード: chubu
6. LIVE配信は、Facebook「全日本学生ヨット個人選手権大会」のページで配信される。

#### 5. 艇

1. 艇は原則学連登録された自己所有艇とし1艇の予備艇を認める。主催団体が認めた場合は参加者がチャーターした艇も可とする。470クラスおよびスナイプクラスのチャーター艇は学連登録艇に限る。
2. スナイプクラスの艇は2020年度SCIRA登録済みであること。

3. [DP]艇体には【添付図 A】に示す『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』に定められた表示をすると共に、主催団体が準備した識別番号を指定した位置に貼り付けしなければならない。
4. 艇の交換は破損による場合のみとし、事前にテクニカル委員会の許可を得なければならない。新たに使用する艇は大会計測を完了していなければならない。

## 6. セール

1. セールは各チームが持参し、1セットの予備セールを含んだ2セットまでとする。また、レーザーラジアルクラスは主催者が用意したチャーターセールも可とする。
2. 470クラスのセールは、基本計測を完了していなければならない。
3. スナイプクラスの今年度新調したセールは、2020年の年度計測を完了していなければならない。
4. 艇は、他艇と同一のセール番号を同時に使用してはならない。
5. 艇は、オリジナルのセール番号に数字・形象等を付加した、各クラス協会に登録されていないセール番号を使用してはならない。
6. 470クラスのメインセールとスピナーカーのセール番号は同一でなければならない。
7. 予備セールの使用は、セールの紛失又は補修ができないほどの損傷があった場合のみとし、テクニカル委員会の許可を得なければならない。新たに使用するセールは大会計測を完了していなければならない。
8. 6-7に伴い、新たに使用するセールのセール番号は、元のセール番号と同一でなければならない。但しレーザーラジアルクラスのチャーター艇については、この限りでない。

## 7. 計測

1. 参加するチームは、艇体およびスパー類、セールなど予備を含み各水域のオフィシャル・メジャー等有資格者による大会事前計測を完了したことを証明する「大会計測完了証明書」を pdf 形式のファイルにし、8-1の申込みリンクメールアドレスに11月7日までに提出すること。また、この計測は、**2020年9月20日(日)以降**に実施したものが有効となる。計測証明は、大会ホームページからダウンロードすることができる。また、第85回全日本学生ヨット選手権で計測した計測証明書も有効とする。
2. [DP]「大会計測完了証明書」発行後は、改造を行ってはいけない。計測後に修理・改造を行った場合は、再計測を受けなければいけない。
3. 各水域でやむを得ず計測ができなかったときやテクニカル委員会が指定した計測を除き、新たにセール等の計測を大会で実施する場合は、計測料として3,000円を支払うこと。この場合、理由によっては大会での計測は行わない。  
(受け付けられない理由例：至近で新たにセールを購入して届いたから等の理由)
4. 大会期間中に任意に計測を実施することがある。

## 8. 参加申込み方法

1. 共通
  - ① 参加申込は、レース公示のリンクよりオンラインにて実施する。
  - ② 参加申込書 - 1 および参加申込書 - 3 は、大学単位で提出すること。
  - ③ 参加申込書 - 2、健康チェックシートは、選手単位で提出すること。

- ④ 11①から⑤に指定されている書類は、大学単位にまとめ申込みリンクにあるメールアドレスに提出すること。
- ⑤ 健康チェックシートは、18-5による。
- ⑥ 申し込み後の返金は一切応じない。但し、コロナウイルス感染予防の観点から大会が中止された場合のみ、参加料より必要経費を差し引いた額を返金する。
- ⑦ 申込書類の記載等に不備がある場合は、エントリーは完了しない。エントリー締め切り後の変更は、特別な理由を除き認めない。

#### 申込書リンク

[参加申込書-1 共通事項](#)

[参加申込書-2 470 クラス](#)

[参加申込書-2 スナイプクラス](#)

[参加申込書-2 レーザーラジアルクラス](#)

[参加申込書-2 艇登録フォーム（共通）](#)

[参加申込書-3 支援艇許可申請](#)

[レーザーラジアルチャーター申請](#)

[健康チェックシート](#)

[リクエストシート](#)

各種書類送付先メールアドレス：chubu.icyf.alljapan@gmail.com

#### 2. 470 クラス、スナイプクラス

参加資格のあるチームは、①②の項目をオンラインにて期日までに申し込むこと。

- ① 参加申込書-1、参加申込書-2（競技者名簿） 締切：2020年11月1日（日）
- ② 参加申込書-3（支援艇許可申請書） 締切：2020年11月7日（土）17:00 まで

#### 3. レーザーラジアルクラス

参加資格のあるチームは、①②および③（レーザーラジアルチャーター希望者のみ）の項目をオンラインにて期日までに申し込むこと。

- ① 参加申込書-1、参加申込書-2（競技者名簿） 締切：2020年11月1日（日）
- ② 参加申込書-3（支援艇許可申請書） 締切：2020年11月7日（土）17:00 まで
- ③ レーザーラジアルチャーター申込書 締切：2020年11月1日（日）

#### レーザーラジアル艇のチャーターについて

- ① レーザーラジアルのチャーターは、先着 10 艇とし、同一大学 2 名までのチャーターとする。
- ② オンラインでの申込み日含め 2 日以内にチャーター料の振込がない場合は、自動キャンセルされる。これは、特定の大学に偏らないようにするとともに、出来るだけ多くの選手が参加し易いようにするためである。
- ③ レーザーラジアルのチャーター状況については、常にオンラインで確認できるため、状況を確認して申し込みを行うこと。

- ④ キャンセルがあった場合は、申し込み順に繰上げを行う。なお、11番目以降の申し込みについては、チャーターが可能となった連絡後、チャーター料の振込みを行うこと。
- ⑤ 自己都合のキャンセルに伴うチャーター料の返金を行わない。
- ⑥ 艇の引き渡しは、選手各自が海陽ヨットハーバーにて実施する。艇は、申し込み順にセール番号の若番より割り当てる。(全ての艇は、同時期に購入している)

## 9. 参加料

エントリー料	470クラス、スナイプクラス	20,000円/艇
	レーザーラジアルクラス	10,000円/艇
識別番号料		2,100円/艇

識別番号料は、予備艇分も支払うこと。

レーザーラジアルクラスチャーター料 11月28日～29日利用分のみ 8,380円/艇

エントリー料には、11月28日から11月29日の給水設備使用料を含む。

これ以外のハーバー使用料は、各チームでハーバー窓口に支払うこと。

振り込先 三菱UFJ銀行 松阪支店 店番532 普通1041719

口座名義 イシクラ トシヒロ

振込みは、個人単位で振込み、大学まとめた振込みは行わない。

振込人名義は、大学名と個人名を両方記入のうえ振込のこと。

例 アイチダイ アイチタロウ

## 10. 帆走指示書の交付

1. 2020年11月1日(日)までに各水域学連委員長宛に送付するとともに、大会ホームページへ掲載する。 URL <https://www.ayf.jp/race/10422>
2. 帆走指示書に対する質問は、11月20日(金)までにオンラインにて所定のフォームに記入のこと。質問に対する回答は、11月27日開会式、大会説明までに公式掲示板(大会ホームページ)に掲示される。

## 11. 受付

参加チームは、次の書類等を提示し受付を完了させなければならない。

受付は、ZOOMを利用して実施する。

受付(470) ミーティングID: 389 909 5063 パスワード: chubu

受付(スナイプ) ミーティングID: 523 609 5053 パスワード: chubu

受付(共通・シングル) ミーティングID: 355 708 3554 パスワード: chubu

- ① 選手の(公財)日本セーリング連盟会員証。
- ② 監督・コーチの(公財)日本セーリング連盟会員証又はその写し。
- ③ 470クラスは計測登録証明書及びINTERNATIONAL 470CLASS Measurement Form  
ただし、2011年7月29日以前に登録された艇は、上記に加え計測登録証明書(原本)
- ④ スナイプクラス計測証明書。
- ⑤ 参加料振込明細書(写真で可)

受付(共通・シングル)では、質問も受け付ける。

## 12. 得点

1. 艇のシリーズ得点は、完了したレースが5レース以下の場合、全レースの合計得点とし、6レース以上完了した場合、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
2. 最優秀選手の選出において、470クラス、スナイプクラスで成立したレース数が異なる場合、艇の得点の平均値（小数点以下2位を四捨五入）を求め、少ない方を上位とする。  
これでもタイとなった場合は、成立したレース数が多いクラスのスキッパーを上位とする。成立したレース数が同じで得点がタイとなった場合は、規則 A8 を適用する。それでも解けない場合は、両クラスのスキッパーを最優秀選手とする。

## 13. コース

【添付図 B】 の見取り図はレグ間の通過するマークの順序及びそれぞれのマークを通過すべき側を含むコースを示す。

## 14. 賞

賞は次のように与えられる。

470 クラス	スナイプクラス	賞状	1位～6位	賞品	1位～3位
レーザーラジアルクラス		賞状	1位～3位	賞品	1位～3位

470 クラス、スナイプクラスの1位の選手には小澤杯を授与する。

470 クラス、スナイプクラスの中で最少得点の選手（ヘルムスマン）には最優秀選手賞 関山旗を授与する。

## 15. 支援者・支援艇

1. 支援艇とは、規則の定義にある支援者が乗艇する全ての艇を指す。
2. [NP]海陽ヨットハーバーに来場する支援者は、選手と同様に 18. コロナウイルス感染予防対策の記載に従うこと。
3. [NP][DP]豊田自動織機海陽ヨットハーバー内では、支援艇は、主催団体が指定する棧橋以外に係留してはならない。豊田自動織機海陽ヨットハーバー以外より一時的に持ち込んだ支援艇は、1回あたり15分を越えて豊田自動織機海陽ヨットハーバー内の棧橋に係留してはならない。
4. [NP][DP]豊田自動織機海陽ヨットハーバーに一時的でも入港する支援艇は、海陽ヨットハーバーの所定の手続きを行い使用料の支払いをすること。
5. [NP][DP]支援艇は、水上にいる間、大会本部で貸与する『識別用リボン』を水面より1m以上の高さに掲揚するとともに、大学名を目立つように掲示しなければならない。大学名は、それぞれ準備するものとし、大会側では準備しない。
6. [NP][DP]支援艇には、定員の半数を超えて乗船してはいけない。端数の場合は、小数点以下切り捨てた人数とする。

## 16. 責任の否認

1. 競技者は、自分自身の責任において本大会へ参加している。  
（規則4「レースをすることの決定」を参照）
2. 主催団体は、本大会前、本大会中、本大会後に関連して受けた物的損傷または個人の負傷、もしくは死亡に対するいかなる責任を否認する。

## 17. 大会期間中の選手の肖像権

本大会期間中の、艇、選手に関連する写真、ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は主催団体に帰属する。また、これら写真は、SNS 等へ掲載されることがある。これらは、参加申し込みをした時点で同意したものとみなす。

## 18. [NP]コロナウイルス感染予防対策

1. 選手は、厚生労働省が公表する「新しい生活様式」を遵守すること。
2. 海陽ヨットハーバーの利用にあたっては、施設が指示する【新型コロナウイルスの感染拡大防止による施設利用の制限について】を遵守すること。これは、豊田自動織機 海陽ヨットハーバーのホームページで取得出来る。<http://www.aichi-koen.com/kaiyo/>
3. マスク等、感染対策に必要な物は、選手自身で準備すると共に海陽ヨットハーバー内では必ず着用する。
4. 大会前2週間以内にコロナウイルス感染の疑いがある場合は、大会に参加しない。これは、期間内に「濃厚接触者の新しい定義」に該当するものと接触し体調に異常を感じた場合も含まれる。
5. 毎朝の健康状態等をブリーフィングまでにオンラインにて提出する。海陽ヨットハーバー入所時は、体温測定と手の消毒を実施する。この結果、体調に異常がある場合は、来場しない。
6. 大会期間中にコロナウイルス感染の疑いがある場合は、所属する水域学連を通じ主催団体に報告する。また、大会終了後2週間（12月13日）以内にコロナウイルス感染症状が発生した場合も主催団体に報告する。
7. 大会終了後2週間は、行動を記録し主催団体から要求があった場合は提出する。
8. 以下の場合、大会を中止することがある。また、大会期間中に大会を中止した場合は、保健所等の公的機関の指示に従う。
  - ① 全国の一部地域でも日本国政府による非常事態宣言が再宣言された場合。
  - ② 感染拡大防止のため行政機関等より、愛知県において500人規模を上回る屋外イベントの中止依頼がされた場合。
  - ③ 公的機関から大会中止の指示がされた場合。
  - ④ 大会期間中に選手、関係者の感染が発覚した場合。
  - ⑤ 大会会長が、中止を判断したとき。
9. 大会期間中の指示は、以下のツール活用し行う。選手は、これらが確認できるPC等を準備する。選手は、LINE オープンチャットに登録が必要で登録方法は別途指示する。

大会ホームページ：公式掲示を掲示  
Facebook：ブリーフィングのLIVE配信等  
LINE：選手への指示、陸上で発する信号などの選手への発信。  
ZOOM：開会式、大会説明、選手受付、審問  
電子メール：審問などの連絡
10. ブリーフィングは、参加各校1名までの出席とする。これらが公聴できるように、大会 FacebookにてLIVE配信を行う。

## 19. シングルハンドレガッタの中止

エントリー数が、5艇に満たない場合は、大会を中止する。

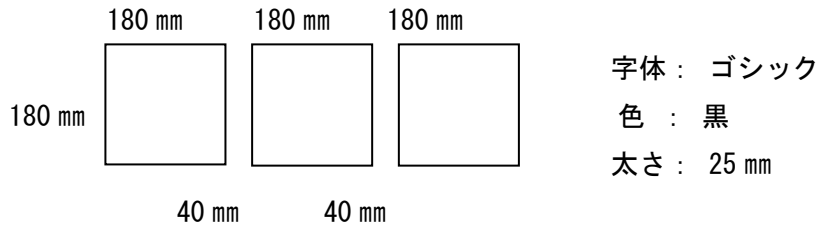
## 20. 問い合わせ先

中部学生ヨット連盟 E-mail : [chubu.icyf.alljapan@gmail.com](mailto:chubu.icyf.alljapan@gmail.com)

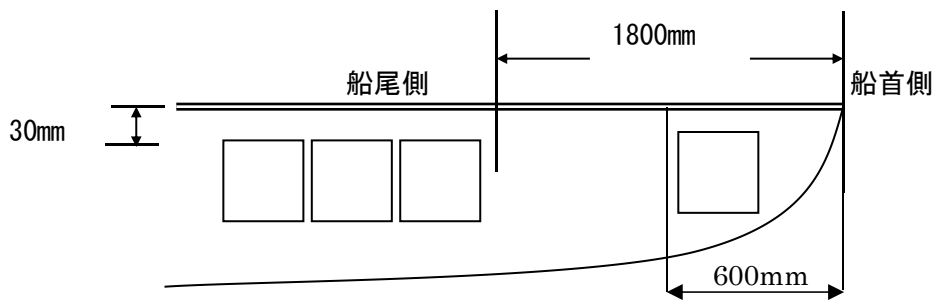


【添付図 A】 艇体および識別番号貼付位置

(1) 470 クラス、スナイプクラス



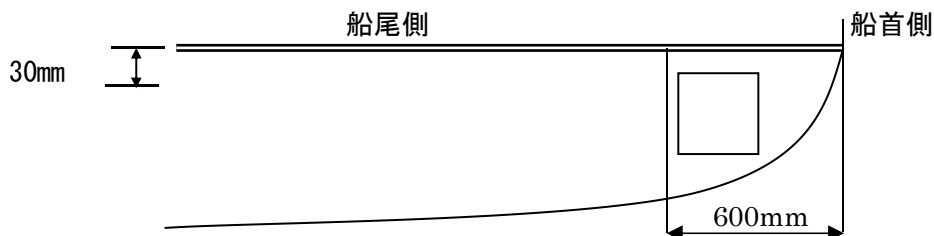
- ・ 大学名シールは、各大学（または水域）で作成する。
- ・ 貼付位置は前部デッキのステムから後方 1800 mm より後ろ近い部分の両側板部分とする。  
ただし、文字の大きさは 180mm 以上であれば任意とし、それに伴った字間、太さの変動は認める。  
また、艇体が濃色で黒色では見えにくい場合に限り、白色で表示することも可とする。
- ・ 識別番号は、バウの先端から、600 mm の間に識別番号を張り付ける。  
470 クラス：黒色      スナイプクラス：赤色



\* 取り付け位置の若干の誤差は許容する。

(2) レーザーラジアルクラス

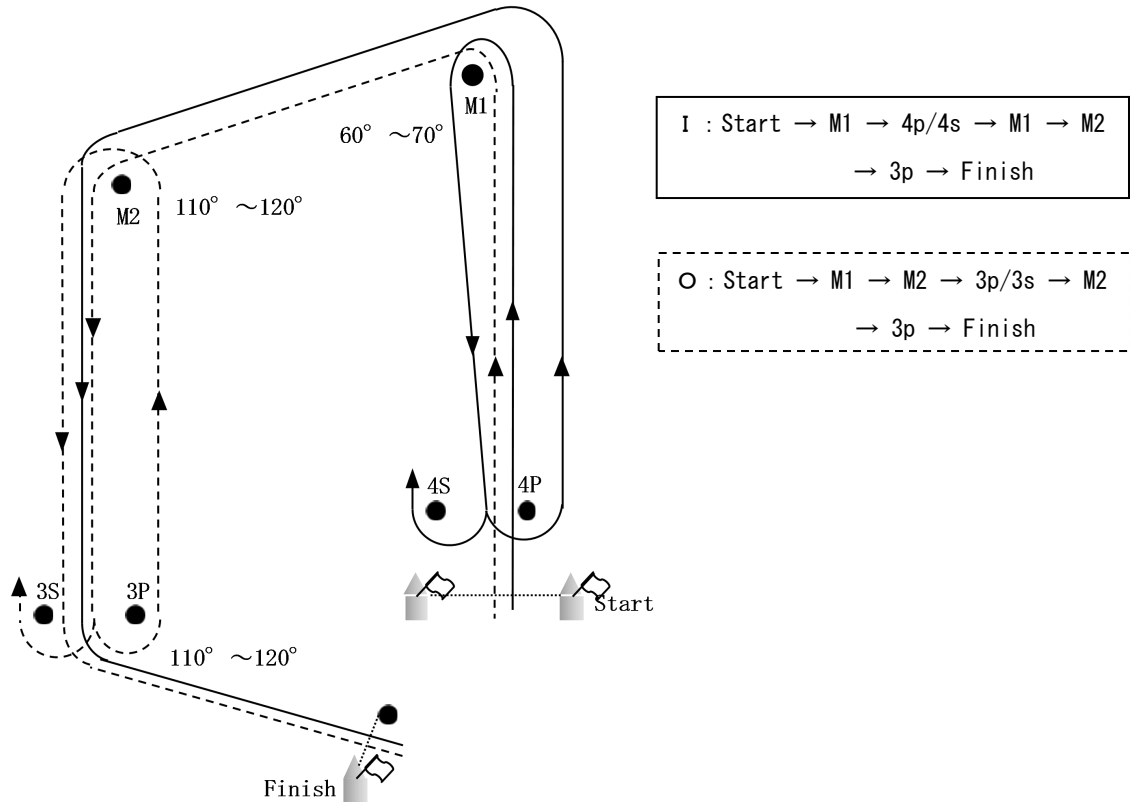
- ・ 識別番号は、バウの先端から、600 mm の間に識別番号を張り付ける。



\* 取り付け位置の若干の誤差は許容する。

【添付図 B】 コース見取り図

470 クラス、スナイプクラス、レーザーラジアルクラス



【以下レース公示に含まれない事項】

●新型コロナウイルス感染予防対策について

中部学生ヨット連盟ホームページにある「2020年度 全日本学生ヨット個人選手権大会の新型コロナウイルス感染予防対策について」を確認すること。

URL : [https://www.ayf.jp/chubu\\_icyf/10586](https://www.ayf.jp/chubu_icyf/10586)

以 上